

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	実習前演習CBT I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学 期	後期	教室名	902教室
担 当 教 員	宇留島 嵩人				
実務経験と その関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務し、急性期、スポーツ外来、回復期、療養病棟でのリハビリを経験。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。スポーツ医学検定1級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法を行う上で基礎となる解剖学・生理学・運動学を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
CBT試験 80% 小テスト 20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエスチョンバンク共通」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業を予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	股関節の役割を理解できる	配布プリント	特になし	
	各コマにおける授業予定	股関節の問題を解説			
第2回	授業を通じての到達目標	膝関節の役割を理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	膝関節の問題を解説			
第3回	授業を通じての到達目標	足関節の役割を理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	足関節の問題を解説			
第4回	授業を通じての到達目標	関節の種類を理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	関節種類の問題を解説			
第5回	授業を通じての到達目標	骨の解剖生理を理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	骨解剖生理の問題を解説			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	起始停止の問題を理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	起始停止の問題を解説		
第7回	授業を通じての到達目標	筋の作用を理解できる	配布プリント	前回の復習
	各コマにおける授業予定	筋の作用の問題を解説		
第8回	授業を通じての到達目標	神経支配を理解できる	配布プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	神経支配の問題を解説		
第9回	授業を通じての到達目標	循環と心臓を理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	循環と心臓の問題を解説		
第10回	授業を通じての到達目標	動脈の役割を理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	動脈の問題を解説		
第11回	授業を通じての到達目標	リンパの役割を理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	リンパの問題を解説		
第12回	授業を通じての到達目標	呼吸の役割を理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	呼吸の問題を解説		
第13回	授業を通じての到達目標	酸塩基平衡の役割を理解できる	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	酸塩基平衡の問題を解説		
第14回	授業を通じての到達目標	消化器の役割を理解できる	配布プリント	前回の復習
	各コマにおける授業予定	消化器の問題解説		
第15回	授業を通じての到達目標	消化吸収の問題を解説	配布プリント	特になし
	各コマにおける授業予定	消化吸収の問題解説		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	実習前演習CBT I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学 期	後期	教室名	902教室
担 当 教 員	宇留島 嵩人				
実務経験と その関連資格	理学療法士として愛仁会高槻病院(急性期)で2年間勤務。その後尼崎だいもつ病院(回復期)で3年間勤務し、急性期、スポーツ外来、回復期、療養病棟でのリハビリを経験。運動器認定理学療法士取得済み。運動器疾患を100例以上担当。福祉住環境コーディネーター2級取得。心電図検定2級取得。スポーツ医学検定1級取得。本校にて国家試験対策講義を担当。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法を行う上で基礎となる解剖学・生理学・運動学を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
CBT試験 80% 小テスト 20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエスチョンバンク共通」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業を予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	排泄について理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	排泄の問題を解説			
第17回	授業を通じての到達目標	腎臓についての理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	腎臓の問題を解説			
第18回	授業を通じての到達目標	血液と免疫について理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	血液と免疫の問題を解説			
第19回	授業を通じての到達目標	ホルモンについて理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	ホルモンの問題を解説			
第20回	授業を通じての到達目標	生殖器の役割を理解できる	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	生殖器の問題を解説			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 2 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 3 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			